

日時	平成 26 年 10 月 31 日 (金) 第 5 校時
学年組	第 6 学年 1 組
人数	男子 17 名 女子 12 名 計 29 名
場所	6 年 1 組教室

領域 B 鑑賞(1)
 題材名 百鬼夜行図に遊ぶ
 ～共同製作を通して～
 尾道市立瀬戸田小学校

1 題材について

- 本題材は、学習指導要領 B 鑑賞(1) ア、イを受けて設定している。その中でも、主なねらいは、自分が感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表現の意図や特徴などをとらえることである。本題材は、「初めの鑑賞→表現→終わりの鑑賞」という一連の活動を通して、「鬼」や「妖怪」への思いを対象とした表現と鑑賞を一体的に学習する内容である。

題材の展開としては、まず「初めの鑑賞」活動を行う。この活動では、児童が耕三寺博物館所蔵の「百鬼夜行図」を鑑賞し、鬼や妖怪から聞こえる「声」や絵巻全体から聞こえる「お話」を切り口に形や色、動きに触れる。次に「鑑賞」を受けての「表現」活動を行う。この活動では、形や色、動きを手掛かりに自分たちの「現代版百鬼夜行図」をつくる。最後に、「終わりの鑑賞」活動として、耕三寺や自分たちの「百鬼夜行図」について表現の意図や特徴などを発表し合いながら、形や色、動きによる表現について振り返る。

これらの活動を通して、児童は、芸術作品の形や色のすばらしさを感じ取ると共に、「鬼」や「妖怪」を描いた美術作品に対して作者の思いを感じ、見る楽しさや表現する楽しさをふくらませ、美術作品の見方を広げることができると題材であると考えられる。

- 本学級の児童は、図画工作科について、絵や友だちの作品を見ることはほとんどの児童が好んでいるが、見た作品について感じたことを友だちに話すことや見た作品について、感じたことを言葉に表すことについては、30%の児童が苦手意識をもっている。

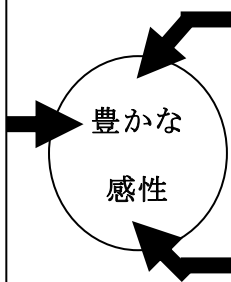
本学級の児童が表現と鑑賞を一体化させた学習をするのは、2度目の経験である。1学期に行った「ありがとうの絵手紙」を題材に表現と鑑賞を一体化させた授業後には、友人の作品や美術作品を見ることに関して93%の児童が楽しいと述べ、友人と作品について話し合う活動については76%の児童が面白かったと感想を述べた。

耕三寺版「百鬼夜行図」については、「妖怪や鬼の表情や動きが面白い。」とか「妖怪同士のかかわりが面白い。」など、親しみを感じている。児童は、これまでポートフォリオを基に、お互いの工夫点や固有の思いを認め合い、自己肯定感を育ててきた。鑑賞においては、画家や児童個人の作品を対象に「形」や「色」、「興行き」等の視点で話し合いを重ねてきたが、共同製作についての鑑賞は、今回が初めてである。児童は視点を明確に自分の意見を言うことはできる。しかし、友人の感じ方に共感していても、共感した思いを意見として伝えることは不十分である。話し合う活動に対して苦手意識をもっていた児童も、ポートフォリオに自分の意見をかいて整理した上で鑑賞を行うと、少しずつ自分の思いを出すことができてきた。本題材で、現代版「百鬼夜行図」や耕三寺版「百鬼夜行図」を鑑賞する取組を通して、友人の考えに共感し自分の考えを確かにしたり深めたりする活動を仕組むことで、児童はお互いのよさをより一層感じ取ることができると考える。

2 研究テーマとかかわった指導の手立て () は主な評価方法

① 自己肯定感の育成

- ・「百鬼夜行図」について、一人一人の児童固有の見方、感じ方、考え方を認める中で、児童が自分の言葉で表現し味わうことができるようにさせる。
(ワークシート・行動観察・発言内容)
- ・形や色、動き、空間などの視点で2つの「百鬼夜行図」(耕三寺版と共同製作の現代版)を鑑賞させ、お互いの工夫を認め合う活動を通して、自己肯定感を育む。
(ワークシート・行動観察・発言内容)
- ・作品のよさを鑑賞する機会をとり、喜びを味わわせる。(ワークシート・発言内容)



② 基礎的・基本的な知識・技能を活用する思考力・判断力・表現力の育成

- ・形や色、動きなどを視点に、自分達の表現方法を振り返らせ、その意味を考えさせる。
(ワークシート・発言内容)
- ・形や色、動きなどを基に、作品に表された意味を考えさせる。(ワークシート・発言内容)
- ・形や色、動きなどを基に、作品から自分にとっての意味をつくりだし言葉で表現させる。
(行動観察・発言内容)

③ 感じる心の育成

- ・「鑑賞」の場面で感じたことを交流する活動を通して、美術作品や友人の作品の表し方の工夫・表現の意図や特徴に気付かせる。
(ワークシート・行動観察・発言内容)
- ・交流の場を授業の中で設定し、共同・共感体験を増やし、感じる心を高めさせる。(発言内容)

3 題材の目標

親しみのある美術作品の特徴を形や色、動きを視点に鑑賞するとともに、感じたことから表したいことを見つけて、形や色、動きなどを工夫して表す。

4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
イメージをふくらませて「百鬼夜行図」の表現を工夫し、お互いの作品のよさを意欲的に考えようとしている。	現代版「百鬼夜行図」について、「形」、「色」、「動き」、「空間」などを生かして、発想を広げている。	自分たちのイメージに合った技法や材料・用具を選んで表現に生かしている。	芸術作品や自分たちの作品について、「形」、「色」、「動き」、「空間」などを生かした表現のよさを感じ取っている。

5 学習指導計画（全10時間）

- 第一次 耕三寺博物館の耕三寺版「百鬼夜行図」を鑑賞して気付いたことをまとめる。 〈鑑賞(1)ア・イ〉（1時間）
- 第二次 共同製作としてクラスで決めたテーマを基に、班ごとに製作場面を分担し、鬼や妖怪を組み合わせる。 〈表現(2)ア〉（1時間）
- 第三次 形や色、動き、空間などを工夫して共同製作、現代版「百鬼夜行図」をつくる。 〈表現(2)イ・ウ〉（6時間）
- 第四次 「百鬼夜行図」について、感じたことをまとめ交流する。〈鑑賞(1)ア・イ〉（本時2/2 2時間）

6 本時の目標

「百鬼夜行図」について、「形」や「色」、「動き」、「空間」等を手掛かりに感じたことを交流する活動を通して、表現のよさを感じ取ることができる。〈鑑賞(1)ア・イ〉

7 本時の展開 ◆指導すべき点（しっかり） ★思考力（じっくり） ■発信力（はっきり）

学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1 本時の学習内容の把握 <ul style="list-style-type: none"> ○ 形や色、動き、空間等を手掛かりに、自分たちの作品や美術作品のよさを交流するというねらいを、はっきりもつ。 ○ 本時のめあてを確認し、見直しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本時までの学習を基に、本時では、2つの「百鬼夜行図」（共同製作の現代版と、耕三寺版）のよさについて意見を交流することを伝え、学習の見直しをもたせるようにする。 	
2つの「百鬼夜行図」について、形や色、動き、空間等を手掛かりに感じたことを交流しよう。		
2 表現の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ○ 共同製作「百鬼夜行図」や耕三寺版「百鬼夜行図」について、自分が伝えたいことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの共同製作、現代版「百鬼夜行図」の面白さや、表現後に新たに感じた耕三寺版「百鬼夜行図」のすばらしさについて、考えをまとめさせる。 	<p>「百鬼夜行図」について、「形」、「色」、「動き」、「空間」等を生かした表現のよさを感じ取っている。（発言内容・ワークシート）</p>
3 友だちとの交流 <ul style="list-style-type: none"> ○ 共同製作「百鬼夜行図」について形や色、動き、空間等を手掛かりに感じたことを交流する。 ○ 耕三寺版「百鬼夜行図」について形や色、動き、空間等を手掛かりに感じたことを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 共同製作、現代版「百鬼夜行図」の工夫点を、「形」「色」「動き」「空間」等の視点で話し合わせる。 ・ 自分たちの生み出した鬼や妖怪を、「未来心の丘」のモニュメントとからませた面白さを中心に、発表させる。 ・ 互いの感想を一齐に交流できるように、教室の環境整備やワークシートの工夫を行う。 ・ 肯定的な視点で交流できるようにさせる。 ★ 自分たちが共同製作「百鬼夜行図」をつくるに当たって、耕三寺版「百鬼夜行図」で参考にした点、表現後に新たに感じ取った耕三寺版「百鬼夜行図」のよさを交流させ、考えを深めさせる。 ・ 共同製作や耕三寺版の「百鬼夜行図」全体の動きを鑑賞させ、工夫点を感じ取らせる。 ・ 2つの「百鬼夜行図」を基に、作品には作者の思いや意図が詰まっていることや、形や色、動き、空間等の工夫によってすばらしい表現ができることに気付かせる。 	
4 本時のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見る楽しさや表現する楽しさを共有しながら作品の見方を広げる活動のよさに、気付かせる。 	

言語活動の充実